

憲法・野党共闘

山下さんが絶対必要です



憲法学者 小林 節

今、日本の政治を救うには、野党全体の力を高める以外にない。そのためには、ブレない野党・共産党が議席を伸ばすことが必要である。

日本国憲法が心に根付いている山下さんは、その誠実な人柄で野党共闘の要にもなってきた。

この国に不可欠な政治家として、山下芳生さんの続投を私も心から応援したい。

党副委員長・参議院議員(3期)
活動地域
大阪(兵庫、滋賀、奈良、和歌山(京都をのぞく近畿))

山下よしき

芳生



困った人をほっとかない
あったかい人間の連帯を国の政治に

ひとにぎりの大企業・富裕層やアメリカばかりに顔をむける政治から、まじめに生きる人びとに希望がわいてくる政治へ——との思いでがんばってきました。これからもみなさんの願いを届け、共同の力で政治をうごかします。ご支援よろしくお願ひします。

ホームページ www.yamashita-yoshiki.jp/ @jcpyamashita

阪神・淡路大震災 「国会議員とは」を学ぶ

おばあちゃんの2つの教え

よしきの原点



初当選は阪神・淡路大震災の半年後。道路や港は復興するのに、被災者の生活再建は置いてきぼり。被災者の叫びを聞くたびに「国会議員として何ができるか」を考えました。

「政府がやらないなら自分らで」と作家の小田実さん(故人)らと勉強会を立ち上げ、法案提出にこぎつけて生活再建への公的支援に道を開きました。

「人の役に立つ人間になれ」「共産党にはなったらいかん」。おばあちゃんの2つの教えです。

しかし、共産党が侵略戦争に命がけで反対したことを知り「どんなに困難でも信念を貫くことが人の役に立つ生き方では」と入党。「あなたの教え、一つは守りました。一つは乗り越えました」と仏壇に手を合わせています。

「全国は一つ」、参議院比例代表で7議席をめざします

- | | | | | | | | | |
|---|---|---|--|---|---|---|---|---------------|
| 
仁比そうへい
参議院議員
中国、四国、九州・沖縄 | 
山下よしき
党副委員長
参議院議員
大阪、兵庫、滋賀、奈良、和歌山 | 
井上さとこ
参議院議員
東海、北陸信越、京都 | 
井上さとこ
党中央委員
南関東 | 
しいば寿幸
参議院議員
東京 | 
小池晃
党書記局長
参議院議員
あきた、北関東 | 
梅村さえこ
前衆議院議員
北関東 | 
紙智子
参議院議員
北海道、東北 | 比例代表予定候補(第一次) |
|---|---|---|--|---|---|---|---|---------------|

2019年7月 参院選投票方法
比例代表は「日本共産党」政党名を書きます。個人名でも投票できます。
選挙区は「候補者の名前」

選挙制度紹介(記載例)

参議院比例代表は「全国ひとつ」の選挙区です。政党名でも候補者名でも投票できます。

「日本共産党」と

政党名で

全国ひとつ

市民とスクラム 政治を変える

大企業中心・米国いいなり転換を



安倍
暴走政治
と対決

党副委員長

山下よしき

【略歴】

1960. 2 香川県生まれ。鳥取大学農学部卒。大阪かわち市民生協(現おおさかパルコ)勤務
95 参議院大阪選挙区から35歳で初当選
98 38歳の若さで党参議院国対委員長
2001 党リストラ反対・雇用を守る闘争本部事務局長
07 6年ぶりに比例代表で再選。現在3期目
14.1 党書記局長 16.4 党副委員長
党参議院議員団長。参議院総務委員会、予算委員会などに所属。家族は妻と三男

「9条まもれ」共同広げる

「変えるべきは憲法でなく憲法ないがしろの政治」「9条は軍事費を抑えて経済成長を促すなど平和日本の基礎」と主張(17年11月、代表質問)。「立場を超え9条改憲ストップを」と訴えています。

森友問題 徹底追及

国有地がタダ同然で払い下げられた森友問題。山下さんは「疑惑の本丸は安倍首相夫妻だ」と指摘。公文書改ざんは「国会と国民を1年以上も欺き続けた歴史的犯罪行為だ」と追及しました(3月15日、代表質問)。

格差・貧困の拡大ストップ

アベノミクスの下で広がる格差・貧困。子どもの貧困問題はライフワーク。子ども食堂でボランティアも。学費値下げ、給付制奨学金創設などで学ぶ権利を保障し、貧困の次世代への連鎖を断ち切れと求めています。

維新政治は許さない

維新・橋下大阪市長(当時)が行った市職員への「思想調査」を国会で批判(12年3月)。「大阪市をなくしたいのか」が問われた住民投票(15年5月)では「維新政治ノー」の共同を広げるために奮闘。2度目の住民投票は許さないと訴えています。

働くルールの確立へ全力

過労死の悲劇繰り返すな

「過労死の悲劇を繰り返さないため、教訓をくみ取る必要がある」。国会で初めてブラック企業を取り上げた山下さんは「残業ゼロ制度」は長時間労働・過労死の危険を高めるもの」と撤回を要求(3月5日、予算委)。「8時間働けば普通に暮らせる社会に」とがんばっています。

ブラック企業
初めて告発



▲ブラック企業規制法案を提出(13年10月)

近畿から新しい政治を



▲大阪で行われた特別国会報告街頭演説で(17年12月、天王寺MIO前)

山下さんは17年12月に比例予定候補として発表され、近畿各地で精力的に訴え。市民との懇談も重ね、「新しい政治を近畿から」と奮闘しています。

山下さんは現場の苦しみ、怒り、喜びをまっすぐに受け止めて、熱い心で政治に迫る人です。医師確保、アスベスト被害、台風被害など現場を調査し、質問や交渉で近畿の願いを国政に届けています。



▲党兵庫県議団の政府交渉に参加(2月)

近畿の
願い
国政に